

NUA PRESS

2007年10月1日発行(年1回発行)第14号 名古屋芸術大学美術学部・デザイン学部同窓会事務局発行/編集
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65 Printed in Japan

2007 no.14

「まだまだやれる事がありそう」

大谷 一郎

デザイン科 16期卒

Feature

カーデザイナーの彼が取り組んだ三菱自動車の「i」。そのアイが昨年度のグッドデザイン大賞を受賞した。

—— グッドデザイン大賞受賞おめでとうございます。

ありがとうございます。

「i」(アイ)は他にもRJCカーオブザイヤーをはじめ20以上の様々な賞をいただきました。その中でもグッドデザイン大賞は車だけでなく全てのモノが対象ですし、フォーカスがデザインにあたった賞ですので、私としても特に嬉しかったです。

—— 受賞作品のデザインを行う上で考慮(工夫)されたことは何ですか。

例えば車に興味の無かった人とか、例えば軽自動車には見向きもしなかった人とか…そういった人達の心をも刺激するクルマがつくりたいと…その為にはクルマのデザインという枠を超える必要があると思っていました。(そういう意味でも、グッドデザイン大賞は車の枠を超えたところで比較し評

価いただいたとも言える訳ですから、狙い通り?)

それから、表面的でなくデザインの内面から魅力が湧き出てくるようにする為、エンジンを後ろに置く独自のレイアウトを採用し、その特徴や利点をシンプルに表現する「意味のあるデザイン」を心がけました。

デザインの味付けという部分においても、柔らかい面や線を使いながらもキレのある構成で仕上げたり、ディテールにちょっとしたユーモアを隠し与えたりして「大人なかわいさ」的な表現をし、今の時代感を表現しているつもりです。

—— 現在はどの様な仕事に取り組んでいますか。

現在も新しい車へのアイデア提案やデザイン作業を続けています。

—— 今後の抱負をお聞かせください。

経験を重ねるほどにデザインの可能性の大きさを感じます。その大きさが大きくなるほど「まだまだやれる事がありそう」と思えてくるので、まだまだ探究心を持ってデザインに取り組んでいきたいと思っています。

それから、そんなデザインの魅力をより多くの人に伝えていければ…とも思っています。

—— 現在デザインに関わる分野は非常に多岐にわたっている中で、大谷さんはもっとも注目されている若手デザイナーといえるでしょう。名古屋芸術大学同窓会の一員として、これからもより一層の活躍を期待します。■

おたにいちろう/現在、三菱自動車工業株式会社、デザイン本部デザイン推進部に所属。



上/ 2006年度グッドデザイン大賞を受賞した三菱自動車の軽自動車「i」(アイ)。
右/ 本人。今年三菱自動車デザイン実習プレゼンテーションの際お話を伺った。

彫刻科 10期卒

田中厚好



第38回日展 特選「平板な家族」

津市出身の田中厚好さんが、2006年の日展で特選を受賞しました。(2005年、愛知万博賞を受賞し、同窓会は、ゴールドプライズを授与しました。)

現在、日展の会友であり、日本彫刻会会員の田中さんに、受賞作品のこと、これまでの事、作品制作への思いを伺いました。

——名古屋女子大付属高校から、実技の塾を経て名古屋芸術大学の彫刻科へ入学し、何を学ばれましたか？

学生時代は人体彫塑を学び、卒業してからも温かさや柔らかさを具象彫刻で、完成された人体よりも、未熟な体を持つ内面・形を自分なりに解釈し、表現して来ました。

私が師と仰いだ先生は、親のように温かく、時に厳しく、私が成長していく上で大きく影響を受けました。ご自身で歌ったり、観劇したり、人生を楽しむこと、感じることの大切さを、その生き様から教えられました。

——受賞作品を見ると、その頃の表現とは少し違うのでは？(数年前から作風が変化)

今の世の中に溢れる痛ましい事件や出来事、哀しい現実を直視し、痛切に訴える作品を生み出すことを使命と考え、制作し始めた作品のひとつです。

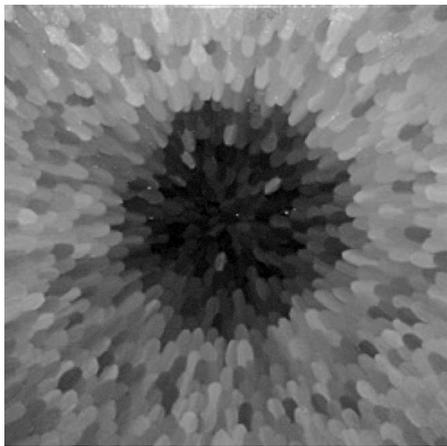
——これからは、どのような作品を制作しようと思っていますか？

これからも、テーマに合わせて素材を選択することから始め、「石膏でもろさを表現」「鉄で冷たさを表現」「木から生命力をもらい表現」することを考え、伝えたい言葉やカタチを素材に託して、未来への警鐘を込めた作品を創造し、見る人との対話によって完結するものを目指して作品を制作していきたい。

「竹林に囲まれたアトリエ」で、自身の生き様を直視して、内に秘めた思いをマイペースで話す、田中さんでした。■

絵画科洋画専攻 33期卒

倉谷絵美



上/「なかのなか」 oil on canvas, S6号
下/ギャラリー-IDFにて、2007年6月-7月開催した個展風景

——まず、現在の状況を教えてください。

名古屋芸大を卒業し、ジャパン・エディターズユニオンという会社に入社し、2年目になりニュース番組の編集の仕事をしています。親会社がTBSテレビに入っていて、主にインターネットでニュースの動画配信をしています。

——映像の編集は、学生の頃から就きたかった仕事と言うことですが、きっかけは何だったのでしょうか？

学生時代に大学の授業で池側先生の映像演習を受講し、映像という表現に興味を持ちました。その中で、編集という作業がとても創造的な仕事だと思いました。4年生になり、就職を考える時期になり、映像や編集に関わる仕事に就きたいと思いました。はじめは音楽のプロモーション映像の編集の仕事が希望でした。

——具体的にどんなお仕事ですか？

その日に入ってきたニュースの中の地上波で放映されたものを、修正編集してインターネットの番組に配信する仕事です。インターネットニュース他にも、デジタル放送の24時間流れているニュース専門チャンネル、JR中央線の電車内ニュース、新宿・渋谷などの駅構内で流される「あの日の出来事」という映像コンテンツの制作にも参加しています。

——大変そうなお仕事ですね？

ミスが許されないので怖いです。ニュースという性格上一度流れてしまうと取り返しがつかないというか、大勢の人が見ているし、それを信じてしまいますから、編集によって誤解をする人も出てくる可能性もあります。

——仕事の魅力、面白さはなんですか？

不特定多数の色々な人に見てもらえ、社会の中で自分の仕事が発立っていることが実感できるということです。

——倉谷さんは就職後も作品制作をしているということですが、仕事と制作の両立はいかがですか？

仕事は週5日勤務なのですが、毎週1回の夜勤(17時～午前2時)と1回の泊り(18時～翌午前11時)が入っていて、生活のリズムを崩さない為にも、作品の制作は役立っていると思います。仕事では左脳を使って、制作では右脳を使っているという感じでしょうか(笑)。

——学生の時と現在とでは、制作への向き合い方が変わりましたか？

基本的には変わってないと思います。ただ制作の時間は、学生の時とは違い自分で意識的に作り出さないといけないと思います。今年は6月から7月にかけて、名古屋のIDFというギャラリーで開催しました。次回は2009年に予定していますので、是非観にお出で下さい。(IDF URL= <http://homepage2.nifty.com/idf/>)

——今回も楽しいミニ同窓会の様子を報告してくれました。

神清院・河国荘と仲間達!? 第3回目だと思ろよ!!



おひおひ??なんじゃこりゃ!! お江戸は浅草のバリオ(下町)の横丁。昔で言わ、小便臭い路地裏にひっそり佇む?助六の宿・貞千代であります。誰かさんは会らなり、マニアック!を連発!! どうやってここを選定したのか?

みんなの疑問の中心でありましたが…まあそれはそれ、結果オーライでありましたので、よかったですか?!

そんな感じで、わさわさ?がやがやしなから怒涛驚愕の宴会に突入!!!で、あります。始まるな否や?スーパーファイナルインパクト?ボケ炸裂する?

H女子(噂のマドンナ漫画家)席一つ向こうの旧知の友人を前に、彼は来てないのっ!?を連発、名指しされた本人もXの悪さに…たじろぐ?たじろぐ!一同?唾然呆然大爆笑!!! 凄まじいイントロで始まった大宴会!?ひかり、よく呑むは、呑むは!いつも思ふ事ではありますが…みんな元気です。どもあれ参加メンバーのご紹介?宴会場より、前列左より内藤哲也さん、野寺幸美さん(彫・7期)、野本博史さん(洋・6期)、山内弘子さん(彫・7期旧姓?番場さん)、星信幸さん、今西興様、福田啓子さん、柏原興様、田高興様、吉崎家内、後列左より、八坂宏明さん、岩井義尚さん夫妻、花井利彦さん、田高亮二さん(音楽部)、今西清剛さん、柏原和利さん、大竹英志さん、吉崎。

さてさて…宴会も夜明けまで(一部の方々)続いてたどの事?? 噂マドンナちゃん?フルパワーメーター振り切れ!朝方元気良く、じゃあねえ!!!…ど一言残して清く白く帰宅された様子、やはり初めも終わりも締めて頂き感謝な事があります。最後までつき合って頂いた方々にも、ご苦労様!?

取りあえず次回は、九州、別府・湯布院を予定中?2010年6月の第一土曜日と日曜日の二日を計画中!私達も参加したり、娘も一緒に、親孝行に両親もなんてね!もオーケーです!ご遠慮なさらず、連絡下さい!詳細につきましては、岩井義尚先生若しくは、吉崎まで。郵送経費の削減にて下記のEメールアドレスまで、一報下さい。宜しくお願ひ致します。

吉崎大樹

吉崎大樹宛

Eメールアドレス→ b.morning-2006.@docomo.ne.jp

〒705-0003 岡山県備前市大内 679-13

電話 0869-66-8569(留守番電話にメッセージを!ファックス故障中)

岩井義尚宛

Eメールアドレス→ yoshi-iwai@nua.ac.jp

〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼 65 名古屋芸術大学

電話 0568-24-0325(内線 391)

本人近影



主な受賞歴

日展=特選、中日賞、愛知万博賞

日本彫刻展=努力賞、中日賞、東海テレビ賞

津市文化奨励賞受賞

日展会友・日本彫刻会会員

現在

高田短期大学育児文化研究センター客員研究員

高田短期大学子ども学科造形表現指導法 担当

他に大学の時の友人とグループ展をやっています。今年も10月3日～8日に栄のギャラリーくさ笛でFeel-soso展を4人で開催します。自分に「展覧会をやるんだー」というプレッシャーをかけないと続かない気がします。

——今後の展開は?夢は?

仕事では地上波でも出来たらいいなと思います。夢としては、やはりミュージックビデオの様な映像作りの仕事に携わってみたいです。今の編集のスキルも生かせるし、音と映像の組み合わせはこれからも可能性はあると思うし、皆に楽しんでもらえるので、いつかはやってみたいです。

あと作家にもなれたらと思います。両方やれたら一番いいんですが(笑)。

——緊張感のある仕事だと思いますが、気を休めるのに良い休日の過ごし方ありますか?

絵の制作以外では、今住んでいる家が北区なので、東京でも昭和というかまだ古い町並みが残っていて、気分転換を兼ねて近所を散策するのが楽しいです。特に巣鴨にはよく行きます(笑)。

その時にはガイド本として「散歩の達人・都電荒川線 完全案内」が手放せません。

今回はいろいろ話をさせていただき、ありがとうございました。生活が不規則になりがちだと思いますが、身体に気をつけて頑張ってください。■

2007-2008年度美術学部主催事業

サン・ヴァンサン大聖堂 『聖母の御眠り』模写



『聖母の御眠り』壁画

この度、美術学部ではサン・ヴァンサン大聖堂『聖母の御眠り』模写を2ヶ年計画で大学主催により実施することとなりました。これは日本画研究室の10年を超えるフレスコ授業実施、度重なるフランス現地での教会フレスコ壁画の取材研究と講義を礎に実現の運びとなった企画です。

日本画材を用いて西洋建築形体を巧みに生かしたフレスコ壁画を、フランスで長期にわたりフレスコ壁画修復家ならびに画家として、ブルゴーニュを中心にフランス全土にわたる中世の貴重な絵画遺産の発掘と保存に貢献していらっしゃる高橋久雄先生(名古屋芸術大学美術学部名誉教授)の指導のもと、壁画修復の足跡を出来る限り追求したモニュメンタルな世界として表現する事は、画材研究として数世紀を超えてなお、新鮮な感動を与える芸術のもたらす意味を学ぶ機会として非常に意義ある事と考えております。

この作品はフランスと日本にて展示発表を行います。また2008年は日仏交流150周年にあたり、この機会に両国で作品展示とワークショップを企画する事は文化・美術・教育交流の一端を担えるものと確信しております。

第2回 “金の卵” 学校選抜 オールスターデザイン ショーケース

デザイン科OB、オープニング&講評会に多数参加。

レポート＝和田義行[デザイン科2期卒。デザイン学部教授]



上/会場風景。名古屋芸術大学のコーナー。

下/本人のパネルを囲み、OBから講評を受けるIDコース3年生の齊藤美貴さん

デザインの未来を担う「金の卵」を一堂に紹介し、デザイン教育の現況を知るとともに学生と企業を結びつける場となる展覧会『“金の卵” 学校選抜 オールスターデザイン ショーケース』を、昨年引き続き東京六本木アクシスギャラリー(主催)で開催しました。

卒業制作は、学生にとって集大成となるものですが、残念ながら社会につながるきっかけになることはほとんどありません。卒業制作に先立ち、これから就職活動に入る3年生(プロダクト、インテリア、情報デザイン)を対象に、全国16校から選抜された約40点の作品を会場に展示しました。3年生とはいえ、その純粋な視点と発想には「金の卵」の資質が隠されています。また、各校から10名ずつ、約160冊のポートフォリオを自由に閲覧できるライブラリーを設置。展覧会という発表の場が、これから社会に羽ばたこうとする「金の卵」たちの励みとなり、さらにはデザイン界のレベルアップに貢献できることを期待し、今回はOBの方々に声をかけて、オープニング&講評会に来ていただきました。

東京スペースの梶浦氏、特許庁の日比野氏、ランドスケープデザインで活躍の藤田氏、日産自動車デザイン部から安藤氏と伊藤氏、ダイハツデザイン部から坂倉氏、カワジュン(株)から林氏、モデルメーカー勤務の前野氏、グラフィックデザイン事務所勤務の告井氏、ウィークデーの夜に10名程のOBの方々に足を運んでいただき、名古屋芸大3年生に直接講評をしていただきました。

学生からは、OBならではのかなり厳しい本音の講評を聞くことができ、大変参考になったと感想をもらいました。来年も学生たちの真剣な取り組みをご覧いただき、皆さまの厳しいご意見やアドバイスをお願いします。

(詳細についてはデザイン誌『AXIS 11月号』に掲載されています。)

Information

同窓会総会 懇親会のお知らせ

同窓会総会・懇親会は、今年で第20回目を迎えます。毎年恒例の催しとして定着しており、毎回多くの同窓生に参加していただいています。卒業生は34期生までを数えるほどになりました。皆さんの参加をお待ちしています。



※参加の方法や参加資格などは、直接同窓会事務局へお問い合わせください。
場所の問い合わせ以外、お店への連絡はごえんりょください。
(事務局:0568-24-0325)

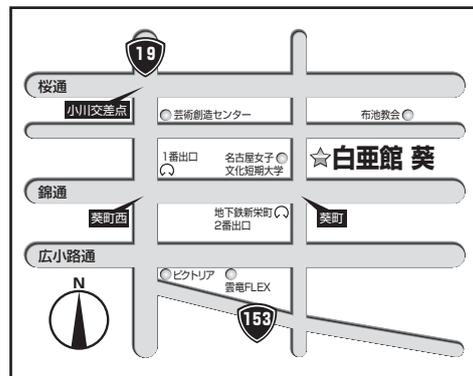


昨年度懇親会の様子

日時 平成19年11月10日[土]
総会受付 16:30～
総会 17:00～
懇親会 18:00～

場所 白亜館 葵 はくあかん あおい
名古屋市東区1-16-38
葵ガーデンビルB1
TEL 052-933-7513

会費 無料



交通のご案内

- 地下鉄東山線「新栄町」駅2番出口より徒歩1分
- 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

同窓会が後援を行った展示会報告

2006年4月から2007年3月まで、同窓会が後援を行った展示会を下記に報告します。

- 重箱展(32期卒 湯浅真奈美 他)
2006年4月21日～5月2日:T.A.G. IZUTO
- 犬飼千絵展(32期卒 犬飼千絵)
2006年5月9日～21日:ヴォイス・ギャラリー-pfs/w
- 松本幹永展～市井の平行世界～(14期卒 松本幹永)
2006年6月8日～7月2日:はるひ美術館
- 藤原史江展(25期卒 藤原史江)
2006年7月24日～29日:不二画廊
- つむじ日本画展(27期卒 野澤朋恵 他)
2006年8月3日～8日:妙香園画廊
- triple crown展(30期卒 和田典子)
2006年9月12日～17日:ヴォイス・ギャラリー-pfs/w
- 半谷公乃展(32期卒 半谷公乃)
2006年10月5日～10日:YEBISU ART LABO
- 伊藤明淑出会い展(32期卒 伊藤明淑)
2006年11月1日～10日:彩ギャラリー
- 西田壽夫:墨画展(15期卒 西田久夫)
2006年12月21日～27日:Gallery Concept 21
- 98JP日本画展(29期卒 大島沙織 他)
2007年1月16日～21日:愛知芸術文化センターアールスペースG
- 藤池正太展「What's new!」(23期卒 藤池正太)
2007年2月20日～25日:ROOA GALLERY
- 水谷篤史展(27期卒 水谷篤史)
2007年3月6日～11日:岩田川久画廊

上記ほか。(計27企画)

後援依頼は後援規約をよく確かめた上、ご応募下さい。

(以下をお読みください。)

作品展に於ける後援規約

名古屋芸術大学美術学部同窓生による個人又はグループの作品展に対して同窓会が後援する事により、同窓生の社会に於ける活動を支援する。

1. 資格

名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓生で会費を収めた者。

2. 後援金

個展・グループ展(参加者全員が同窓生であること)とも1回に二万円とし、各参加者につき年(期間:4月1日より翌年の3月末日まで)1回とする。但し、名義後援は認める。

3. 手続き

- イ) 会期3ヶ月前迄に後援依頼書を提出し同窓会役員会の審査を受ける。
- ロ) 作品展終了後1ヶ月以内に、DM及び会場(作品)写真数点を添え報告書を提出する。尚、DM及び写真は資料にするため返却出来ませんので御了承ください。

4. 条件

- イ) 作品展のDM・看板等に後援名「名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会」を明記する。

5. 再振込の手数料ご本人負担について

- イ) 報告書の振込先に間違いがあった場合は、2万円から振込組戻し手数料(840円)と、再度振込時の手数料(三菱東京UFJ銀行宛315円・他行宛630円)を差し引いた金額を、後援金として入金させていただきます。

6. 問い合わせ・送付先

名古屋芸術大学美術・デザイン学部 同窓会事務局
愛知県北名古屋市徳重西沼65
TEL0568-24-0325

再度確認を!お願いします!

振込先の口座番号など、間違いが大変多くなっています。書類をお送り頂く前に、もう一度番号などご確認ください。よろしくお願いたします。

様式1	後援依頼	様式2	報告書
	<p>〇年〇月〇日 名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会 会長 青木 高弘 殿 第〇期〇〇科卒業 〇〇〇〇〇 印</p>		<p>〇年〇月〇日 名古屋芸術大学美術・デザイン学部同窓会 会長 青木 高弘 殿 第〇期〇〇科卒業 〇〇〇〇〇 印</p>
	<p>下記の作品展について後援をお願いします。</p>		
1) 名称	〇〇〇〇展	1) 名称	〇〇〇〇展
2) 場所	〇〇〇ギャラリー (住所・電話番号)	2) 場所	〇〇〇ギャラリー (住所・電話番号)
3) 会期	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日迄	3) 会期	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日迄
4) 代表者(出品者)	氏名(第〇期〇〇科) 電話番号 郵便番号・住所	4) 代表者(出品者)	郵便番号・住所 ※氏名(第〇期〇〇科)・電話番号 注) ※印は出品者全員記入
		5) 入場者数	〇〇名
		6) 写真	写真〇点添付致します。
		<p>以上作品展について報告致しますので後援金の支給をお願い致します。 振込先/〇〇銀行・〇〇支店・〇〇座・No.〇〇 口座名義(フリガナ)</p>	